

## 第2期新潟広域都市圏ビジョンの進捗状況について

2021年3月に策定した第2期新潟広域都市圏ビジョンに基づき、広域連携による行政サービスの効率的な提供及び、経済的な一体性を有する圏域での政策構築に向けて、取組を進めている。

第2期ビジョン計画期間の3年目である2023年度の進捗状況について、下記のとおり報告する。

### ■ 成果指標（基本目標）について

対岸諸国と首都圏とを結ぶ本州日本海側の拠点地域として圏域全体の経済を活性化し、それぞれの市町村の都市機能や自然環境等の魅力を高め、人々が誇りをもって住み続けたいと思えるような圏域を創造するため、①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化及び③圏域全体の生活関連機能サービスの向上のそれぞれの役割に関して、成果指標（基本目標）を設定している。

目安ラインは、年度ごとの進捗状況を判断する際の参考値として設定したもの。

A：目安ラインを達成 B：目安の8割以上の進捗 C：目安の8割未満の進捗 -：その他（評価困難なもの）

単位：（人）

役割	成果指標	現状値	2022年度			2023年度			目標値 (2024年度)
			目安ライン	実績	評価	目安ライン	実績	評価	
①	観光入込客数	31,132,825 (2019年)	23,838,169	24,578,028 (確報値)	—	23,838,169	29,964,342	A	31,140,000
	従業者数	575,700 (2016年)	—	調査なし 【参考】 570,982 (R3年度 経済センサス)	—	—	調査なし 【参考】 570,982 (R3年度 経済センサス)		559,000
②	新潟駅一日平均乗車人員数	36,398 (2019年度)	36,400	29,769	B	36,400	33,188	B	36,400
③	人口社会動態	▲ 2,032 (2019年)	▲ 1,550	▲ 1,684	B	▲ 1,550	▲ 1,107	A	▲ 1,100

観光入込客数については、各市町村から新潟県への報告ベースで、前年から5,386,314人増加となっており、目安ラインより6,126,173人多くなっている。これは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、観光をはじめとした社会経済活動が活発化したことや、新潟空港国際線の再開や円安による訪日観光客の増加等によるものと考えている。

従業者数については、2023年を対象とした調査がなかったため、評価困難とした。

新潟駅一日平均乗車人員数については、前年度から3,419人増加となっており、目安ラインより3,212人少ないが、目安ラインの90%以上まで回復している。

人口社会動態については、前年度に比べ転出超過が縮小し、目安ラインを超えて圏域からの流出が減少しており、引き続き2024年の目標値の達成に向けて取り組みを継続する必要がある。

将来にわたって持続可能で、活力あふれる圏域を実現できるよう、圏域の強みを活かしながら今後も取組を一つ一つ継続していく必要がある。

## ■ 新潟広域都市圏ビジョンの取組状況（2023年度）

3つの役割ごとに設定した目標値の達成に向け、取組を進めた。

### <圏域全体の経済成長のけん引：主な取組>

#### ○ 食材ブランド力強化

他市町村と連携した農水産物プロモーションとして、7月に弥彦村とともに「新潟えだまめ」の市場関係者向けトップセールスを実施し、流通量の増加に向けたプロモーションを実施した。

開催15回目を迎えた「フードメッセ in にいがた 2023」では、阿賀野市、加茂市、聖籠町の関連団体からの出展もいただき、出展者数488事業者、来場者数12,589名と過去最多の取り組みとなった。

引き続き、農産品等の販路拡大に向け、圏域市町村と連携しながら取り組みを進めていく。

#### ○ 圏域内二次交通整備事業

#### ○ 圏域内三次交通整備事業

圏域内二次交通整備事業では、「日本海トラベルマルシェ」や「日本列島こころのふるさと観光展」において、パンフレットを用いたPR活動を行った。

圏域内三次交通整備事業では、チラシ等の配布のほか、にしかん観光SNSへの投稿やHPの掲載など、観光資源を巡る観光周遊バスのPR活動を行った。

このほか、広報活動両事業協働で関東圏、関西圏、中京圏等でのプロモーションイベントに参加し周知・広報活動を実施した。

引き続き両事業で協働し、SNS等の各種媒体の活用や、プロモーションイベントや商談会への参加により、周知・広報活動を行い、利用者の増加を図る。

#### ○ その他

コロナ禍を契機として、当初計画していた事業の目的を達成するための手段に多様性が生まれ、民間主導で事業が進んだことによる公共としての役割が終了したもの（「にいがた若手商人塾開催」）や、コロナ禍を契機としてそれ以前の取り組みとは目標を変更したもの（「新潟地域産業見本市開催」）などもあった。

これらのことも踏まえ、第3期新潟広域都市圏ビジョンの策定に向けては、コロナ禍を契機とした社会経済活動の変化を踏まえた事業内容や目標設定を進める必要がある。

#### <高次の都市機能の集積・強化：主な取組>

##### ○ 新潟駅周辺整備

2023年度は新潟市バスターミナルが開業し、南北市街地をつなぐバス路線が新たに設置された。新潟市が街づくりの取り組みとして進めてきた都心エリア「にいがた2キロ」と連動することで、駅南側に新たな都心軸が生まれ、南北市街地の一体化がより一層促進された。

また、バス乗り場が移転、集約し、バスターミナルが駅構内と直結したことで、バスや電車への乗り換えがスムーズにできるようになり、交通結節点としての機能が一層充実したことで、県内外の多くの方が往来できる高次の都市機能が実現した。

今後も引き続き、圏域の主要な玄関口としての役割を果たすべく、事業の進捗に応じて随時、新潟市から連携市町村へ情報を提供するとともに、万代広場の段階的供用開始など、整備を着実に進める。

##### ○ 新潟空港利用活性化

新潟空港を拠点とする新たな航空会社「トキエア」の札幌 丘珠便が1月31日に就航した。現在は新潟―仙台間も就航したほか、運行本数が増便されている。

このようななかで、新潟空港整備推進協議会を通じ、新潟空港ファンクラブの新規入会プレゼントキャンペーンの実施を行い、新規入会を促した。

今後は新規路線の就航などの状況を見ながら、関係機関と連携を図り、利用機運醸成に資する情報提供・交換を行う。

#### <圏域全体の生活関連機能サービスの向上：主な取組>

##### ○ 子育て支援パスポート利用促進

従来の聖籠町、田上町、新発田市、胎内市に加え、2023年4月より加茂市との協賛店の相互利用を開始し、利用者がサービスを受けることを可能にした。

また、結婚や子育てを応援する各事業の協賛店等を紹介するホームページとして、2023年11月に「新潟市結婚・子育て支援サイト」を開設し、結婚応援結パスポートやすこやかパスポート、赤ちゃんの駅の協賛店や登録店舗のほか、各種子育て運動などの情報を掲載している。

今後は、本ホームページやにいがた子育て応援アプリなど、様々な媒体を用いて情報発信を行うことで、子育て支援パスポート事業の周知に努め、更なる協賛店獲得と

利用者満足度の向上を目指す。

○ 図書館相互利用

2023年6月に弥彦村図書館「らいわ弥彦」が新館オープンしたこと等により、新潟市民が他市町村立図書館等へ利用登録した人数は、前年度比から約2倍の674人となった（昨年度342人）。

一方の他市町村民が新潟市立図書館に利用登録した人数は、昨年度から8%増の368人であった（昨年度339人）。

また、2023年8月には、三条市との図書館相互利用の運用が開始したことにより、新潟広域都市圏11市町村全体で、図書館の相互利用が達成できた。

○ 移住・定住促進

2023年度は2件のイベントに共同出展し、延べ153組、189名の相談をいただいた。

引き続き、連携市町村担当者間の連携を密にし、開催方法や開催時期、開催内容など効果的なイベント出展を検討するとともに、ツアーや移住者交流会など、新たな取り組みも検討し、圏域全体での移住・定住の促進に取り組む。

○ 災害時相互援助

令和6年能登半島地震による新潟市の罹災証明書発行業務のため、令和6年2月7日から令和6年3月2日までの25日間、延べ350人の市町村職員が新潟市へ派遣され、新潟市の被災者生活の再建に尽力いただいた。

引き続き、連携市町村相互で情報共有を図りながら、災害時の相互応援体制を強化していく。

■ KPI 進捗状況について

KPIの進捗状況については、76.7%が目安ラインを達成した。（【－】その他（評価困難なもの）については集計から除く。）

コロナ禍等を契機とした社会・経済情勢の変化により、当初の事業内容や取り組み方法の変更があったことなどを背景に、設定した目安ラインに対する評価が困難となっているものや、目標達成の難しくなっている事業もあるが、広域連携による行政サービスの効率的な提供及び、経済的な一体性を有する圏域での取り組みの推進に向け、引き続き連携を強化していく。

A：目安ラインを達成 B：目安の8割以上の進捗 C：目安の8割未満の進捗 －：その他（評価困難なもの）

役割	KPI 指定数	進捗状況			
		【A】	【B】	【C】	【－】
① 圏域全体の 経済成長の けん引	12	4	2	3	3
② 高次の都市 機能の集積 ・強化	4	3	0	0	1
③ 圏域全体の 生活関連機 能サービス の向上	32 (うち5事業再掲)	26	2	3	1
計	48 (うち5事業再掲)	33	4	6	5

第2期 新潟広域都市圏ビジョン 連携事業一覧表

役割	通番	事業名	現状値	2023年度 (目安ライン)	実績	評価	目標値 (2024年度)
		成果指標					
① 圏域全体の経済成長のけん引							
1		新潟広域都市圏ビジョン懇談会設置・運営	89.6%	90.0%	76.7%	B	90.0%
		連携事業の成果指標達成率					
2		新潟地域産業見本市開催	23社	20社	3社	—	25社
		連携市町村域内の出展企業数					
3		にいがた若手商人塾開催	5.0%	7.0%	0.0%	C	10%以上
		連携市町村からの塾生受入れ割合					
4		NIIGATA SKY PROJECT	1回	1回	0回	C	1回
		情報交換の実施回数					
5		DXプラットフォーム推進事業	—	10社	3社	C	10社
		プラットフォーム会員企業数 (圏域内) ※新規会員数					
6		食材ブランド力強化	2回	2回	2回	A	年2回
		他市町村と連携した農水畜産物の プロモーション実施回数					
7		広域観光周遊ルート形成	197,252百万円	210,992百万円	調査なし	—	213,032百万円
		飲食・宿泊業売上金額 (経済センサス)					
8		新潟港クルーズ客船誘致受入	2回	2回	2回	A	2回
		意見交換回数					
9		新潟市まちなか・観光交流拠点等整備	1,864万8千人	1,632万8千人	1,626万 5千人 ※報告ベース	B	1,865万人
		新潟市観光入込客数					
10		圏域内二次交通整備事業	1路線	1路線	2路線	A	1路線
		路線数					
11		圏域内三次交通整備事業	1路線	1路線	1路線	A	1路線
		運行路線数					
12		新潟市北京事務所活用	3回	—	14回	—	—
		北京事務所を活用した連携市町村 による情報発信数					

第2期 新潟広域都市圏ビジョン 連携事業一覧表

役割	通番	事業名	現状値	2023年度 (目安ライン)	実績	評価	目標値 (2024年度)
		成果指標					
② 高次の都市機能の集積・強化							
	13	高度医療サービス提供	51.0%	50.0%	56.4%	A	50.0%
		新潟市民病院「急患外来」における 二次・三次救急患者の占める割合					
	14	新潟駅周辺整備	36,398人/日	36,400人/日	33,188 人/日	B	36,400人/日
		新潟駅一日平均乗車人員数					
	15	新潟空港利用活性化	2回	2回	2回	A	2回
		連携市町村との意見交換回数					
	16	農業活性化研究センター活用	4回	4回	7回	A	4回
		研修会等開催回数					
③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上							
	17	訪問介護普及啓発	2回	2回	2回	A	2回
		研修会開催回数					
	18	子育て支援パスポート利用促進	82.3% (新潟市)	83.7%	調査なし	—	85.0% (新潟市)
		子育て支援パスポートの満足度					
	19	子育て支援センター相互利用	4,664人	4,000人	3,457人	B	5,000人
		新潟市外在住者利用数					
	20	子育て支援員研修実施事業	62人	130人	98人	C	130人
		研修受講者数					
	21	Net119 緊急通報システム共同運 用事業	0市町村	11市町村	11市町村	A	11市町村
		共同運用実施市町村数					
	22	公共施設等相互利用	年1回	1回	1回	A	年1回
		公共施設等総合管理計画に関する 情報交換の開催回数					
	23	図書館相互利用	9市町村	10市町村	11市町村	A	11市町村
		新潟市との相互利用市町村数					
	24	公民館相互利用	1回	1回	1回	A	年1回
		公民館相互利用に向けた意見交換 会の開催回数					
	25	スポーツ施設相互利用	1回	1回	1回	A	年1回
		スポーツ施設相互利用に向けた意 見交換会の開催回数					

## 第2期 新潟広域都市圏ビジョン 連携事業一覧表

役割	通番	事業名	現状値	2023年度 (目安ライン)	実績	評価	目標値 (2024年度)
		成果指標					
③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上							
	26	生涯学習人材バンク情報共有 新潟市との情報共有市町村数	6市町村	7市町村	7市町村	A	7市町村
	27	文化・観光施設利用促進 共通割引券の各市町村広報誌等への延べ掲載回数	11回	11回	12回	A	11回
	28	コンパクトシティ推進 コンパクトシティの推進に関する情報交換の実施回数	1回	1回	1回	A	年1回
	29	信濃川やすらぎ堤賑わい創出 信濃川やすらぎ堤ミズベリング来客数	40,300人	40,300人	33,860人	B	現状値以上
	30	移住・定住促進 イベント共同出展の回数	—	1回	2回	A	1回
	31	にいがた若手商人塾開催【再掲】 連携市町村からの塾生受入れ割合	5.0%	5.0%	0.0%	C	10%以上
	32	圏域内二次交通整備事業【再掲】 路線数	1路線	1路線	2路線	A	1路線
	33	圏域内三次交通整備事業【再掲】 運行路線数	1路線	1路線	1路線	A	1路線
	34	災害時相互援助 相互援助に関する情報交換の実施回数	1回	1回	1回	A	年1回
	35	再生可能エネルギーの地産地消事業 本市を介して契約に至った圏域内の再エネ需給件数	—	4件	4件	A	5件
	36	広域交通（県内都市間高速バス）維持 広域交通維持に関する意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	A	年1回
	37	生活交通（地域間幹線系統バス路線）維持 生活交通維持に関する意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	A	年1回



第2期 新潟広域都市圏ビジョン 連携事業一覧表

役割	通番	事業名	現状値	2023年度 (目安ライン)	実績	評価	目標値 (2024年度)
		成果指標					
③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上							
	38	生活交通(コミュニティバス)確保 生活交通確保に関する意見交換会 の開催回数	1回	1回	1回	A	年1回
	39	パーク&ライド推進 パーク&ライド推進に関する意見 交換会の開催回数	1回	1回	1回	A	年1回
	40	国県道等整備 国県道供用延長	655.8km	661.8km	663.1km	A	661.8km
	41	食材ブランド力強化【再掲】 他市町村と連携した農水畜産物の プロモーション実施回数	2回	2回	2回	A	年2回
	42	移住・定住促進【再掲】 イベント共同出展の回数	—	1回	2回	A	1回
	43	出会い・結婚サポート事業 圏域内で協力したイベント開催回 数	8回	4回	2回	C	8回
	44	職員研修交流 職員研修交流市町村数	5市町村	6市町村	6市町村	A	7市町村
	45	水道分野専門別研修 合同研修会の開催回数	2回	2回	2回	A	2回
	46	教職員人材育成 教職員人材育成に関する情報交換 の実施回数	1回	1回	3回	A	年1回
	47	職員派遣交流 職員派遣交流市町村数	4市町村	3市町村	4市町村	A	6市町村
	48	教職員交流 教職員交流に関する情報交換の実 施回数	2回	1回	1回	A	年1回